



JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

決算説明会

— 2015年3月期 —

2015年5月18日

株式会社JSP

本日の出席者

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

取締役社長	塚	本	耕	三
第一事業本部長	小	野	秀	夫
第二事業本部長	臼	井		宏
研究開発本部長	及	川	泰	男
経理財務本部長	鈴	木	高	徳
総務人事本部長	斉	藤	吉	成
経営企画本部長	近	藤		正

目次

2014年度

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

1. 2015年3月期決算概要（2014年度）
2. 2016年3月期決算見通し（2015年度見通し）
3. 2015年3月期決算補足（2014年度補足）

決算概況

2014年度

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2013年度 実績	2014年度 業績予想 (2014.10.30公表)	2014年度 実績	前年比	公表比
売上高	112,128	115,500	116,923	104%	101%
営業利益	5,909	6,000	5,667	96%	94%
経常利益	6,509	6,200	6,044	93%	97%
当期純利益	4,404	4,200	4,039	92%	96%

- 為替：106.5円/ドル 140.3円/ユーロ（前年98円/ドル 130.6円/ユーロ）
- 国内：原燃料価格・輸送費上昇、消費税増税後の需要減で回復は限定的
- 北米：寒波の影響で景気は一時的に減速したが拡大基調
- 南米：高水準のインフレーションなどを背景に個人消費減速
- 欧州：緩やかな景気回復が継続
- 中国・アジア：成長率の鈍化はあったが自動車及び家電市場が高い成長を継続

押出事業

2014年度

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2013年度 実績	2014年度 実績	前年比
売上高	39,614	39,915	101%
営業利益	1,926	1,348	70%

収益悪化 ①原燃料価格上昇の価格是正遅れ ②住宅・耐久消費財の需要減

- 産業用包装材「ミラマット」耐久消費財の需要減の影響もあり売上減少
- 産業用包材「Pボード」自動車・家電市場の低迷により売上減少
- 食品包材「スチレンペーパー」堅調な需要と新規グレード拡販で売上高増加
- 広告用・折材「ミラボード」広告宣伝の多様化（デジタル化等）で売上減少
- 住宅用断熱材「ミラフォーム」戸建住宅・マンション着工件数減少で売上減少
土木分野では、震災からの復興需要及び公共事業の需要増もあり売上増加

(単位：百万円)

項目	2013年度 実績	2014年度 実績	前年比
売上高	67,034	70,340	105%
営業利益	4,545	4,854	107%

EPP：自動車部品の採用拡大・円安効果で増収増益 EPS：収益改善

- 自動車用部品、家電製品包装材用途の「ピーブロック」（英名ARPRO）
 - 日本：消費税増税の影響で売上減少、原燃料価格上昇で収益低下
 - 北米：寒波の影響で現地通貨で売上減少、円換算では売上増加
 - 南米：景気減速による自動車販売台数の落込みで売上減少
 - 欧州：景気回復を背景とした自動車部品の需要増で売上増加
 - 中国・アジア：自動車及び家電市場が高い成長を維持、新規需要拡大で売上増加
- 魚箱、家電製品緩衝材、住宅用断熱材用途の「スチロディア」
 - 水産・農業が天候不順で需要低調、機能性製品の拡販・コスト削減で収益改善

その他

2014年度

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2013年度 実績	2014年度 実績	前年比
売上高	5,479	6,667	122%
営業利益	△32	59	—

国内：円安を背景に梱包材需要は堅調、中国：液晶TV梱包材の需要増加

- 国内一般包材
円安を背景に梱包材需要は堅調。中国向け車載部品・スマートフォン用成形シートの増販、国内生産回帰に伴う需要の増加もあり売上増加
- 中国一般包材
液晶テレビ向けの新規梱包材の採用により売上増加

目次

2015年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

1. 2015年3月期決算概要（2014年度）
2. 2016年3月期決算見通し（2015年度見通し）
3. 2015年3月期決算補足（2014年度補足）

決算見通し

2015年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2014年度 実績	2015年度 見通し	前年比
売上高	116,923	119,000	102%
営業利益	5,667	7,000	124%
経常利益	6,044	7,100	117%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,039	4,800	119%

- 前提：120円/ドル 130円/ユーロ 原油価格（ドバイ）60ドル/バレル
- 国内：原燃料価格の軟化及び消費税増税の影響が薄れ収益は改善に向かう
➢高断熱材の需要増加 ➢耐久消費財の需要増加 ➢減価償却費減少
- 海外：北米・欧州の景気は好調を継続し自動車向けを中心に需要増加
中国を始めとするアジアの自動車及び家電市場は高い成長を維持
- 配当：1株当たりの配当金（予想）年間30円

業績の推移

2015年度見通し

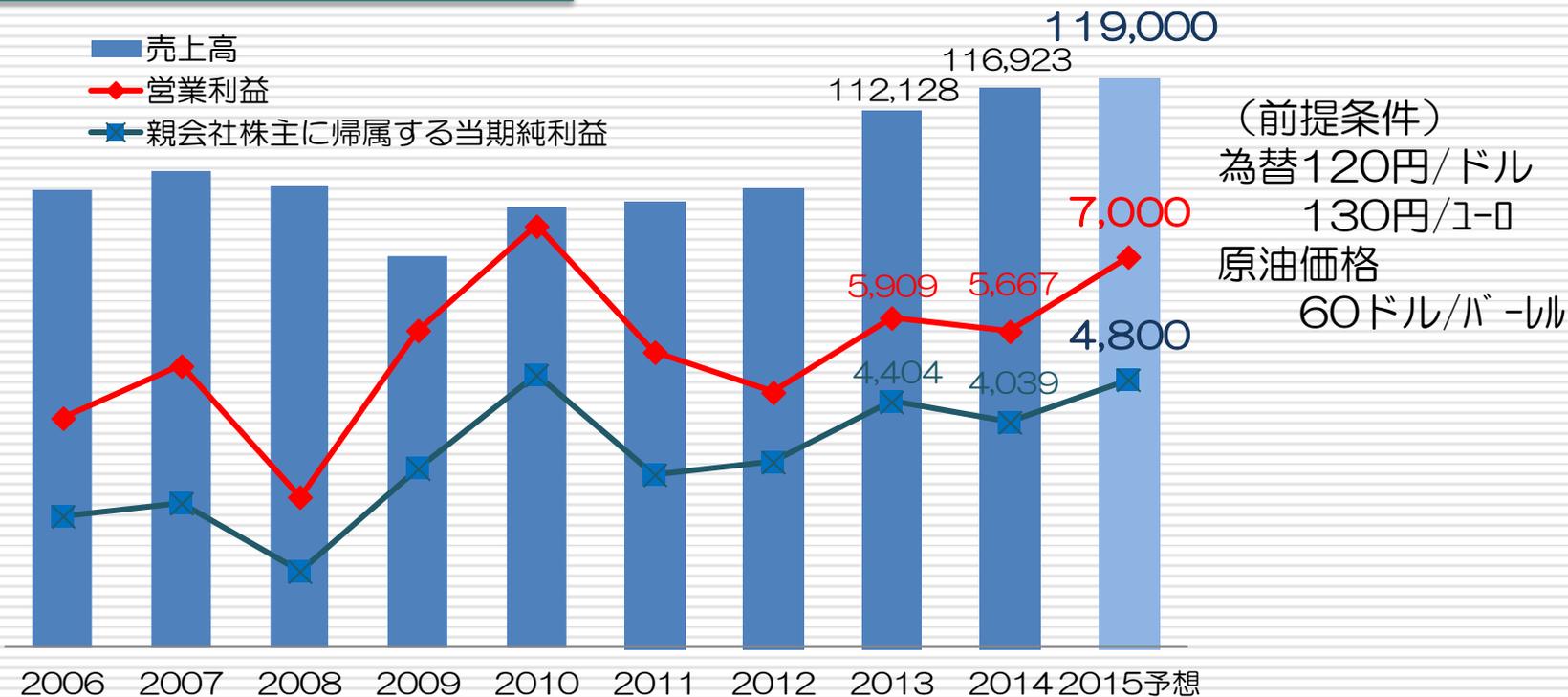
JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

2015年度 見通し

● 売上高 119,000
● 営業利益 7,000

● 設備投資額 約8,500 (増産3,100 維持5,400)
● 減価償却費 約4,550 (償却方法変更約660減少)



セグメント別計画

2015年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

	2014年度実績		2015年度見通し		2014年度比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上	利益
押出事業	39,915	1,348	39,402	1,967	99%	146%
ビーズ事業	70,340	4,854	73,775	5,871	105%	121%
その他	6,667	59	5,823	32	87%	54%
計	116,923	6,262	119,000	7,870	102%	126%
調整額	—	△595	—	△870	—	—
合計	116,923	5,667	119,000	7,000	102%	124%

押出事業

2015年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2014年度 実績	2015年度 見通し	前年比
売上高	39,915	39,402	99%
営業利益	1,348	1,967	146%

消費税増税の影響が薄れる→建築・住宅用断熱材・デジタル家電分野の需要増



スチレン
ペーパー
差異化製品
収益改善



永久帯電防止
ミラマット
エース
需要開拓



・ミラフォームH
・ウォールブロック
拡販に注力

数量：前年並

- 省資源で容り法負担軽減
中発泡品「コアライト」
- フィルム以木目模様製品

数量：前年比106%

- スマホ・タブレットなど
成長市場で差異化製品拡販
- 新たな市場開拓で数量伸長

数量：前年比114%

- 高断熱材の販売を倍増
- 東京五輪で公共事業増加
- ウォールブロック拡販

ビーズ事業

2015年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2014年度 実績	2015年度 見通し	前年比
売上高	70,340	73,775	105%
営業利益	4,854	5,871	121%

ピーブロック拠点拡大・需要増加で増収増益、スチロダイア安定収益の確保



ピーブロック
(英名ARPRO)
海外拠点拡大
車部品採用拡大
増収増益

数量＝前年比107%

- 中国の自動車・家電市場で需要増加
- 自動車の新規部品の採用拡大（シート等）
- 新製品・新用途開拓による新需要取込み



スチロダイア
機能性グレード拡販
他部門との連携強化
安定収益

数量＝前年並

- 機能性グレード製品の拡販
「クリアポール」「ヒートポールGR」
- 他部門との生産・販売の連携強化

目次

2014年度補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

1. 2015年3月期決算概要（2014年度）
2. 2016年3月期決算見通し（2015年度見通し）
- 3. 2015年3月期決算補足（2014年度補足）**

経営成績

2014年度補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

単位は百万円、(%)は対前期増減率

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2014年度	116,923 (4.3%)	5,667 (△4.1%)	6,044 (△7.1%)	4,039 (△8.3%)
2013年度	112,128 (16.8%)	5,909 (29.2%)	6,509 (32.1%)	4,404 (32.5%)

包括利益 : 2014年度 8,658百万円 2013年度 10,462百万円

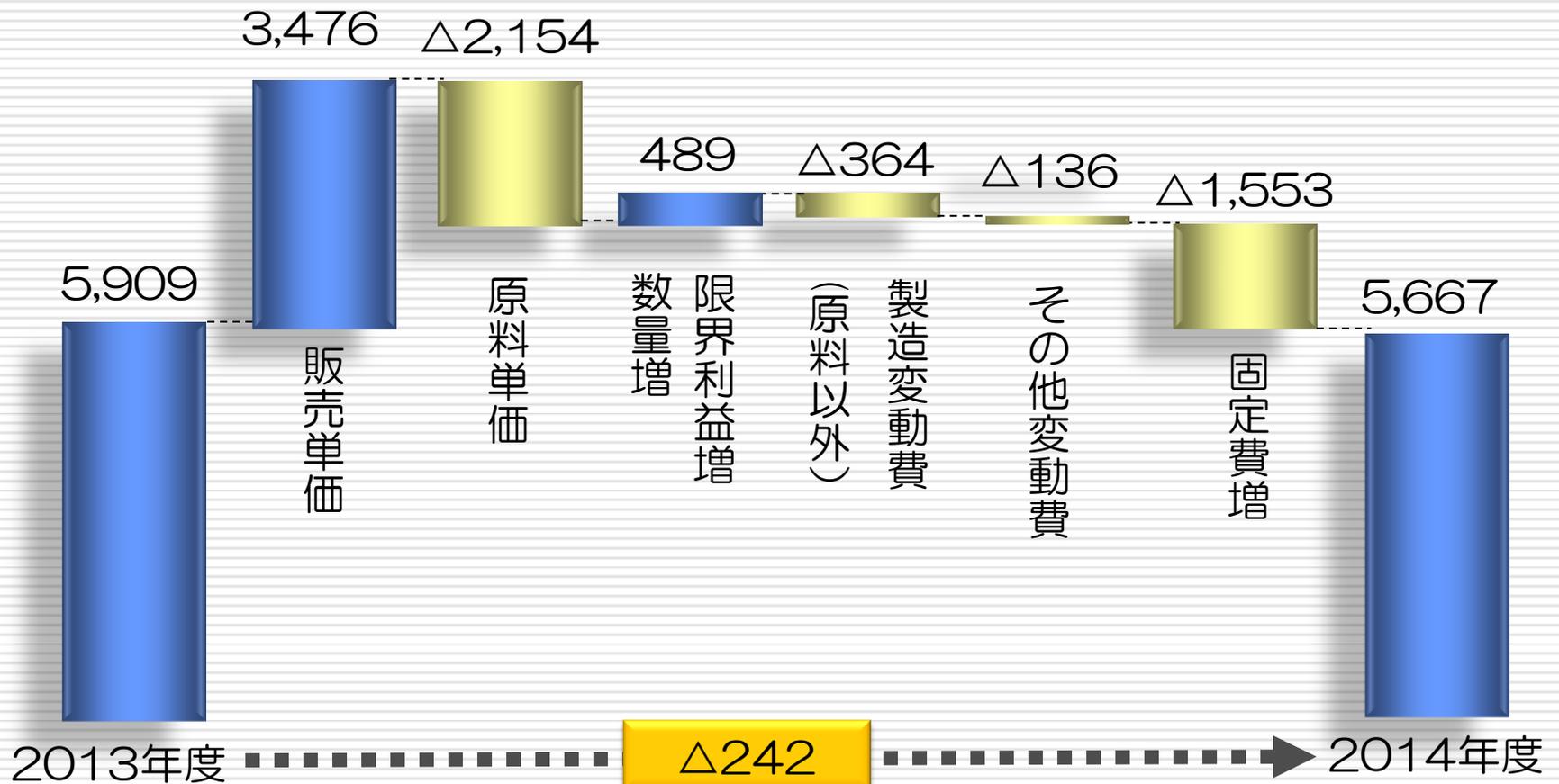
	1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2014年度	135円50銭	6.5%	5.4%	4.8%
2013年度	147円73銭	8.2%	6.4%	5.3%

営業利益の増減要因

2014年度補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)



営業外損益・特別損益

2014年度補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

営業外損益

科 目	2013年度	2014年度
受取利息	209	240
為替差益	250	13
その他	477	404
営業外収益合計	937	658
支払利息	219	191
その他	116	89
営業外費用合計	336	280

特別損益

科 目	2013年度	2014年度
固定資産売却益	55	9
投資有価証券売却益	66	30
特別利益合計	122	40
固定資産除却損	60	38
固定資産売却損	34	1
投資有価証券評価損	—	40
その他	—	3
特別損失合計	95	84

財政状態

2014年度補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2014年度末	116,717	70,352	56.0%	2,190円61銭
2013年度末	108,420	62,375	53.4%	1,940円48銭

(参考) 自己資本 2014年度末 65,307百万円 2013年度末 57,853百万円

貸借対照表

2014年度補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

	科 目	2013年度末	2014年度末	増減額
資産の部	流動資産	59,255	64,106	4,851
	固定資産	49,164	52,611	3,446
	資産合計	108,420	116,717	8,297
負債の部	流動負債	32,404	33,460	1,055
	固定負債	13,639	12,905	△734
純資産の部	株主資本	58,780	62,409	3,628
	その他包括利益累計	△926	2,898	3,825
	少数株主持分	4,522	5,044	522
	負債純資産合計	108,420	116,717	8,297

純資産の部

2014年度補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

科 目	2013年度末	2014年度末	増減額
資本金	10,128	10,128	—
資本剰余金	13,405	13,405	—
利益剰余金	36,621	40,253	3,631
自己株式	△1,374	△1,378	△3
株主資本合計	58,780	62,409	3,628
その他有価証券評価差額金	179	269	90
為替換算調整勘定	△596	2,348	2,944
退職給付に係る調整累計額	△509	281	790
その他包括利益累計	△926	2,898	3,825
少数株主持分	4,522	5,044	522
純資産合計	62,375	70,352	7,976

キャッシュフロー

設備投資・減価償却・研究開発

2014年度補足

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

キャッシュフロー

(単位：百万円)

	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2014年度	8,289	△8,029	1,156	8,893
2013年度	7,200	△8,430	190	6,972

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円)

	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2014年度	7,575	5,327	2,023
2013年度	8,735	4,865	2,015

(設備投資額はキャッシュベースであります。)

株式会社 J S P

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

お問合せ Tel 03-6212-6306 広報 IR室